

# 大磯町事業仕分けの結果

		担当課	地域協働課	担当班	コミュニティ安全班
班－番号	予算事業名		詳細事業名		
1－5	防犯灯維持管理事業		防犯灯維持管理事業		

評価結果		コメント(仕分けの理由・今後に向けての提案等)	
1 不要			
2 民間	1	・防犯意識の高揚のため、住民主体の防犯灯管理に移行すべき。	
3 大磯町 (要改善)	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティをどのように考えているのか。地域差をあえて容認する姿勢も必要か。</li> <li>・委託と補助の違いを明確にして、判断すればよい。</li> <li>・住民の協力を得て、玄関、門柱灯を点灯してもらうなら、住宅地は少なくとも可能か？</li> <li>・具体的な計画、目標値を設定していかないと、どこまでやっていいかわからない。</li> <li>・(維持) 地域コミュニティを進めるために、今後自治会などとともに考えていく。</li> <li>・(新設) 新設については、広域を含めたスケールメリットをいかに。</li> <li>・人件費(人工・にんく)がかかり過ぎ。</li> <li>・事業の成果をインプット、アウトプットではなく、説明する努力が必要。</li> <li>・地域との関わり、経費の効率化等大磯町の実情に応じて判断する。</li> </ul>	
4 大磯町 (現行どおり)			
最終判定	大磯町 (要改善)	管理方法については、直営、自治会等が考えられるが、町として防犯について、住民、地域、行政の役割分担をどう考えるかというビジョンの問題で、防犯灯維持管理をどうするか個別事業の問題ではない。モデル地区方式など、少しずつ地域に任せていくべき。	